



公益財団法人SAJ

SAJ Farm 通信

vol.59
2015年 6月号

公益財団法人
School Aid Japan

〒144-0043

東京都大田区羽田 1-1-3

TEL: 03-5737-2773

FAX: 03-5737-2793

<http://www.schoolaidjapan.or.jp>

sajinfo@schoolaidjapan.or.jp

精油の製造に向けて

SAJ Farm のある地域では、例年より遅いものの 6 月 3 週目頃からようやく雨がまとまって降るようになりました。カンボジアは雨季と言っても雨が降るのは 1 日 2 時間程度のことが多いです。朝から雨が降ると言うのは年に 5 日もないのではないのでしょうか。その代わり、短時間にすごい勢いで降ります。スコールです。日本の梅雨のようなじめじめした感じにはあまりなりません。それでは今月の報告をしたいと思いません。

1 週目①: 有機 JAS 現地検査

日本でレモングラスの精油を販売する場合、有機 JAS 認証を得たほうが品質を保証でき、付加価値をつけることができるので、有機 JAS 認証を得る為の手続きを行いました。必要な書類を作成し、現地確認の為に日本から検査員の方にお越しいただいて立会い検査も受けました。立会い検査では書類で何点かご指摘をいただきましたが、書類を修正して再提出することで認証が取れそうです。カンボジアでの有機 JAS 認証は初めてのことです。今後も土作りにこだわり、安全・安心な農産物の生産を行うことで付加価値を高めるという手法をまずは私たち自ら実践していき、その成果を現地の農家さんに伝えることで少しでも農家さんの所得向上に貢献できるようにしたいと考えています。

1 週目②: トラクターロータリーの刃交換

SAJ Farm の土は細かい砂が多いため、トラクターのロータリーで耕すと、紙やすりで刃を研いでいるような状態です。1 年経つと刃が磨り減って土を耕せなくなってしまう。そのため、刃の交換作業を行いました。交換作業は手作業で行います。ロータリーは鉄の塊なので大変重く、作業中に落下すると大事故につながります。そのため、まずは安全面に気を使い、ロータリーが下がらないようにつかえ棒をするなどして交換作業を行いました。作業は二人で 1 日かけて完了することが出来ました。交換後は調子よく雑草をすきこんでくれています。これから田植えやレモングラスの定植など、作付作業が本格化するので、トラクターには十分活躍してもらえよう、点検・管理もしっかり行っていきます。



立会い検査の様子。認証を得る為に 3 年分の書類が必要な為、なかなか大変です。



左: 交換前の刃、右: 新しい刃
1 年で半分以上刃がすりへってしまいます。

2 週目 : 蒸留棟完成

2015年度の予算計画の目標であり「レモングラス蒸留を本格的に行う為、蒸留するための施設を現地の業者をお願いして建設してきました。広さは6m×6mです。かまども業者に作成を頼みました。ここで蒸留はもちろん、蒸留釜の洗浄、レモングラスや熱源となる薪の保管なども行う予定です。計画通りとはいえ、建物が建つと本当にここまで来たのだなと感じます。蒸留釜は日本で製造していただき、7月下旬頃カンボジアに届く予定です。8月上旬には日本から蒸留釜を作成した業者の方に来ていただいて蒸留釜を設置。機械や施設に問題ないかテストを行った後、精油製造を開始する予定です。1日も早く稼働させることが出来るようにしていきます。

3 週目 : ハウス用途転換

雨季に入ると露地ではレモングラスの乾燥が難しくなります。そのため、野菜を栽培していたハウスを乾燥用に転換する作業を開始しました。まず、野菜栽培用につけていた遮光シートと屋根のビニールをはずし、次に骨組みの確認を行って壊れているところの修理をしました。溶接が壊れている所は溶接し直し、ペンキを塗りなおしました。修理の後にビニールを張りなおし、床にビニールを敷き完成です。当初の予定では5月中に終わらせるはずでしたが、ハウスのビニールの購入に1ヶ月かかり、作業を開始したら雨が降り出して足止めをくらったりしたため、作業が完了したのは6月末でした。日本の田舎ならばよく見かけるビニールハウスですが、カンボジアではほとんど見られない為、特に資材の調達に苦戦します。こういったときに海外で働くとはどういうことかを学ぶと共に、日本のモノ・サービスのレベルの高さを実感します。

4 週目 : レモングラス定植

3週目からようやく雨が降り出したのでレモングラスの定植作業を本格的に開始しました。植える苗は畑にあるものを取り出し、それを株分けして作ります。実際作業すると定植よりも株分け作業の時間がかかります。2時間も3時間もこの作業をすると飽きてくるのですが、スタッフは手を止めずに作業してくれます。今年度は約2haの作付をする予定です。約5万株植える予定です。数だけ見るとなかなか途方もなく感じますが、スタッフと共に日々地道にやっていき、8月中には終わらせたいと考えています。雨季に入ると雑草も伸びるのが早くなる為除草作業も増えてきます。これから作業量が増えて忙しくなってきますが、計画を練りスタッフと共に作業をやりきれよう頑張ります。



蒸留棟の内部。右奥にあるのが蒸留の為のかまど、その左に洗浄場所を作成中。



完成した乾燥ハウス内部。ビニール入手に時間がかかったり雨に足止めされたりしましたが、完成しました。



株分け作業の様子。座ってやるので作業自体は楽ですが、作業が地味で時間がかかる為、思いのほか大変です。